

2023 年度日本農村生活学会大会

(第 71 回大会)

プログラム

期 日:令和 5 年 9 月 30 日(土) 13:00~17:30
10 月 1 日(日) 9:00~15:50

会 場:日本大学生物資源科学部(神奈川県藤沢市亀井野 1866)

★シンポジウム 9月30日(土) 13:10~16:30

「女性が農業で活躍するための条件ー現状と課題、政策支援の方向ー」

座 長:川手 督也(日本大学)・澤野 久美(農研機構)

基調講演:伊藤 里香子(農林水産省経営局就農・女性課女性活躍推進室長)

報 告 者:浜田 亮子(有限会社浜田牧場・ジェラート専門店「ジェラテリアベガ」店長)

高 地 紗世(明治大学)

澤野 久美(農研機構)

コメンテーター:中丸(稲垣) 京子(農研機構)

★ラウンドテーブル 10月1日(日)13:00~15:00

「PBL(Project Based Learning)導入による学生主体の食農連携と地域貢献」

ラウンドテーブル 1:「学生主体のレシピの企画・開発による地産地消の推進」

コーディネーター:谷米 温子(日本大学)

報告者:日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科 フードコーディネート研究室学生

コメンテーター:中村 貴子(京都府立大学)

ラウンドテーブル 2:「地方創生に向けたフードビジネスのプランニング」

コーディネーター:佐藤 奨平(日本大学)

報告者:日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科 食品企業組織論研究室学生

コメンテーター:小口 広太(千葉商科大学)

主 催:日本農村生活学会

【 第1日 9月30日(土) 】

会場:生物資源科学部本館4階大講堂

総合司会:小林 みずき(信州大学)

(1)開会挨拶 13:00~13:10

大会開催校兼大会実行委員長挨拶:川手 督也(日本大学)

学会長挨拶 :市田 知子(明治大学)

(2)シンポジウム 13:10~16:30

テーマ「女性が農業で活躍するための条件－現状と課題、政策支援の方向－」

座長:川手 督也(日本大学)・澤野 久美(農研機構)

日本の農村女性施策は第二次世界大戦後の生活改善普及事業に端を発するとされるが、日本の農政において初めて農村女性対策の体系化が図られ、女性が農業の担い手として明確に位置付けられたのは、1992年に策定された「2001年に向けて 新しい農山漁村の女性」(農山漁村の女性に関する中長期ビジョン懇談会報告書)(以下、中長期ビジョン)まで待たなければならない。

中長期ビジョンは2001年までの約10年間を期限としたものであり、本来であれば、この間の総括と施策の見直し、それを踏まえた新たな施策の策定と展開が必要であったと思われる。しかし、残念ながら長い間果たされずに来た。

ようやくコロナ禍の2020年に農林水産省経営局に「女性の農業における活躍推進に向けた検討会」が設置され、30年近く経って中長期ビジョンの見直しが行われ、同年12月に検討会報告書として「女性農業者が輝く農業創造のための提言－見つけて、位置づけて、つなげる－」(以下、検討会報告書)が公表された。農林水産省は、同じ時期に公表された第5次男女共同参画基本計画と検討会報告書の提言を受け、新たな施策の展開を進めている。

農村女性の問題は、本学会の最重要課題の1つである。本学会では、2019年度のシンポジウムで「女性農業者の“これまで”と“これから”」というテーマで女性をめぐる施策展開と今後の方向性について取り上げているが、中長期ビジョンの見直しが行われ、新たな施策の展開が試みられている中で、2019年度のシンポジウムの議論や成果を踏まえつつ、さらに掘り下げて議論を深めるべき時期に来ているのではないかと考える。

そのため、「女性が農業で活躍するための条件－現状と課題、政策支援の方向－」をテーマとし、研究者のみならず女性農業者及び行政担当者を迎えてシンポジウムを実施し、関連する議論を掘り下げ、女性が農業で活躍するための条件の解明を試みる。

本シンポジウムでは、農林水産省の伊藤里香子室長により、女性農業者関連施策の新しい展開についてお話し頂く。ついで、第一報告の有限会社浜田牧場の浜田亮子氏には、酪農経営の多角化により責任分担しているジェラート店設立の経緯と今後の夢、若い世代の女性が農業で輝くための条件についてお話し頂く。第二報告の明治大学の高地紗世氏には、都市農業を対象として、女性農業者の実態を踏まえつつ、社会参画の現状と課題を論じて頂く。第三報告の農研機構の澤野久美氏には、約30年間の農村女性起業の展開と関連施策について振り返って頂き、今後のあり方について論じて頂く。さらに、農研機構の中丸(稲垣)京子氏には、農業・農村の女性のネットワークの観点からコメントを頂く。

座長解題 川手 督也(日本大学) 13:10~13:20

基調講演 伊藤 里香子(農林水産省) 13:20~13:50

報告:

① 浜田 亮子(有限会社浜田牧場・ジェラート専門店「ジェラテリアベガ」店長)
「酪農経営の多角化と私の夢」 13:50~14:15

② 高地 紗世(明治大学)
「都市農業における女性農業者の実態と社会参画」 14:15~14:40

③ 澤野 久美(農研機構)
「農村女性起業の軌跡と展望」 14:40~15:05

休憩	15:05～15:15
コメント 中丸(稲垣)京子(農研機構) 「農業・農村における女性のネットワーク形成の変化と課題」	15:15～15:30
総合討論	15:30～16:30
(3)学会賞授与式及び総会	16:30～17:30

【 第2日 10月1日(日) 】

(1)一般報告(9:00～11:50)

★A会場:生物資源科学部1号館2階123教室 1人20分(報告15分 質疑応答5分)

A-1(9:00～10:20) 座長:粕谷 美砂子(昭和女子大学)

①灰になる前にー長野県生活改良普及の軌跡ー

愛知大学 片倉 和人

②福井県における昭和期の「冠婚葬祭の改善」に関する一考察

福井大学 嘉瀬井 恵子

③スマートウェアを活用した女性農業労働者の健康支援方法の検討

三重県農業研究所・大阪大学大学院○磯山 陽介・
大阪大学大学院 金子 美樹・大阪大学大学院 清野 健

④女性農業者が健やかに働き暮らすための支援の検討ー仲間とともに自分をいたわる健康プログラムの試行ー

天使大学○小澤 涼子・天使大学 高橋彩華

A-2(10:30～11:50) 座長:櫻井 清一(千葉大学)

⑤農村における配食事業構想の展開ーNPO 法人まおい学びのさとのごはん事業を事例にー

茨城大学 井上 淳生

⑥就労系障害福祉サービスにおける農業の役割と課題

農研機構 中本 英里

⑦ルーラルツーリズムを支える人材育成制度ーオーストリアとイタリア南チロルの事例ー

農林水産省農林水産政策研究所○平形 和世・帝京大学 五艘 みどり・
千葉商科大学 山田 耕生・農林水産省農林水産政策研究所 國井 大輔

⑧ソーシャル・メディアを利用する農業者組織の特徴ー地理的範囲と参加条件に注目してー

農研機構○中丸(稲垣)京子・東京農業大学 原 珠里

★B会場:生物資源科学部1号館2階124教室 1人20分(報告15分 質疑応答5分)

B-1(9:00～10:20) 座長:相川 陽一(長野大学)

①南アルプス農山村地域の生業変容を生きる人々の生活史

京都大学○張 曼青・東北大学 周 玉琴

②「新しい農村」の構築に向けた住民自治活動の蓄積ー二本松市東和地区を主な事例としてー

千葉農村地域文化研究所○飯塚 里恵子・あぶくま高原遊雲の里ファーム 菅野 正寿

③東日本大震災後の小規模農家の生活実況と農に触れる意味の再検討－六郷・七郷地区の農家を事例として

東北大学 周 玉琴

④地域サポート人材制度に関する新聞報道の分析－農村における人材育成に着目して

農研機構○田村 滯・日本大学 加藤 弘祐

B-2(10:30～11:50) 座長:西山 未真(宇都宮大学)

⑤農業の担い手の実態と定年帰農者の役割

愛知県立大学○西野真由・東海大学 木之内均

⑥農家の法人化と企業の会社化－家政共同体から経営体への転換が農村生活へ与えるインパクト

高千穂大学 木佐森 健司

⑦現代日本における家族農業経営の継承－意識とその規定要因－

東京農業大学○原 珠里・山梨県立大学 堤 マサエ・農研機構 中丸(稲垣)京子

⑧経営と地域の同時承継をめざすグリーン・ツーリズムの事業承継の方法

秋田県立大学大学院○藤原 絹子・秋田県立大学 谷口 吉光

(2)休憩 11:50～13:00

(3)ラウンドテーブル 13:00～15:00

テーマ:PBL 導入による学生主体の食農連携と地域貢献

ラウンドテーブル1 会場:生物資源科学部1号館1階111教室

「学生主体のレシピの企画・開発による地産地消の推進」

コーディネーター:谷米 温子(日本大学)

事例報告:日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科 フードコーディネート研究室学生

コメント:中村 貴子(京都府立大学)

ラウンドテーブル2 会場:生物資源科学部1号館1階113教室

「地方創生に向けたフードビジネスのプランニング」

コーディネーター:佐藤 奨平(日本大学)

事例報告:日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科 食品企業組織論研究室学生

コメント:小口 広太(千葉商科大学)

(4)ラウンドテーブル総括 15:10～15:40

会場:生物資源科学部1号館1階112教室

(5)閉会挨拶 15:40～15:50

会場:生物資源科学部1号館1階112教室

<大会に関する問い合わせ先>

第71回大会実行委員長 川手 督也(日本大学)

第71回大会実行委員会事務局長 佐藤 奨平(日本大学)

E-mail rurallife2023◆ml.affrc.go.jp (◆を半角のアットマークにしてください)

日本大学生物資源科学部までの交通アクセスご案内



<電車のアクセス>

小田急江ノ島線「六会日大前」駅から徒歩3~4分